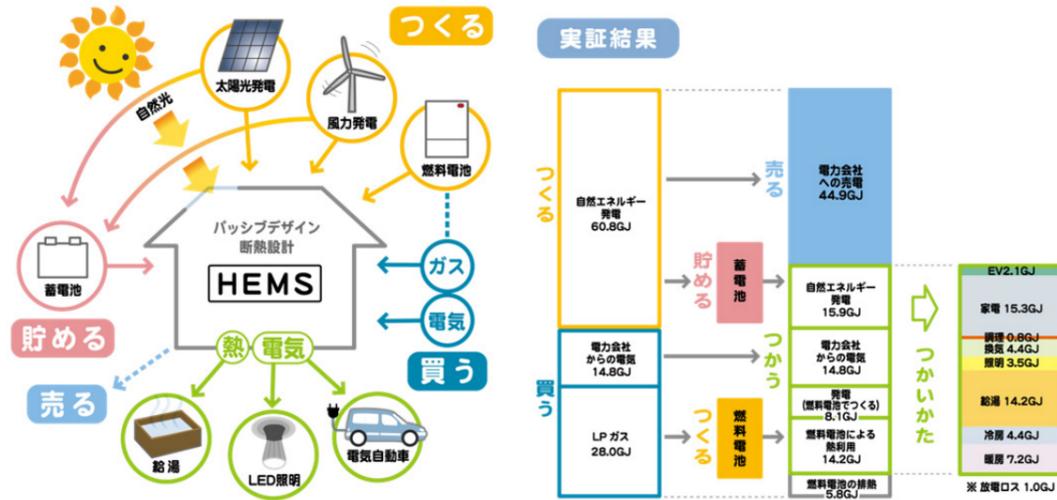


## 4 次世代エネルギーインフラ導入による効果

地球環境にもお財布にもやさしい！

「太陽光発電」と「風力発電」、「燃料電池」、「蓄電池」などを組み合わせた次世代エネルギーインフラの導入に加え、省エネ家電及び高断熱化など最先端の省エネルギー対策、更にはエネルギーを効率よく活用するためのHEMS（ホームエネルギー管理システム）を導入し、エネルギーの見えるかを実証しているモデルです。



一般的な住宅と比較して年間エネルギーが約**50%**削減！  
年間光熱費が約**36万円**の節約！

## 5 断熱性能効果簡易シミュレーション

断熱性能の向上による効果を確認しよう！

エクセルシートに条件を入力することにより、断熱改修による導入効果をだまかに算出します。



断熱改修による導入効果を計算する**ツールを公開**します。

これを**きっかけ**に、断熱改修を検討しましょう！

岐阜県HPで公開予定。  
(岐阜県トップページ> 産業・雇用> 企業立地・企業支援> 中小企業支援> 新エネルギー・新産業)  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/kigyo-ritchi-shien/chusho-kigyo-shien/shinene-shinsangyo/>

## ぎふ次世代住宅導入ガイドライン【概要版】

～省エネ対策・次世代エネルギーインフラ導入のすすめ～

### 本ガイドラインの目的

本書では、岐阜県が独自に実施した実証結果や調査結果を活用し、岐阜に住む皆さんが次世代住宅を建てる、もしくはリフォームする際に参考となる対策効果（エネルギー削減量や光熱費）をわかりやすく整理したものです。次世代住宅の普及を進めていくには、実際に住宅をつくる「**つくり手（建築実務者や設備関係者）**」の技術そして「**住まい手（施主）**」の意識や知識がとても重要です。この2者が協力して、岐阜県内に次世代住宅を普及させ、環境と健康にやさしい岐阜県を次世代に残していきましょう。

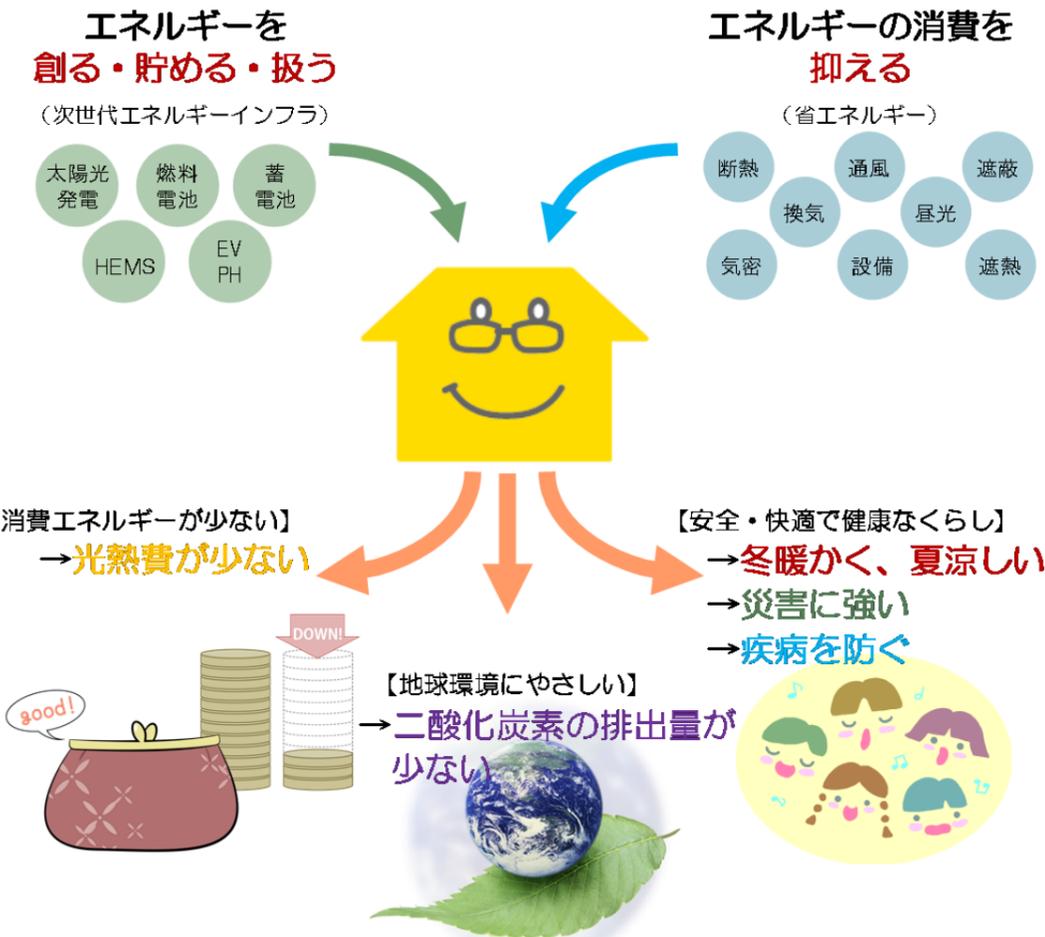
※本ガイドラインは、社会情勢や制度の改正等により、随時見直しを行う予定です。

## 1 次世代住宅とは

家の中では、様々なエネルギー（電気・ガス・灯油など）を利用し、光熱費として電力会社やガス会社などに支払っています。

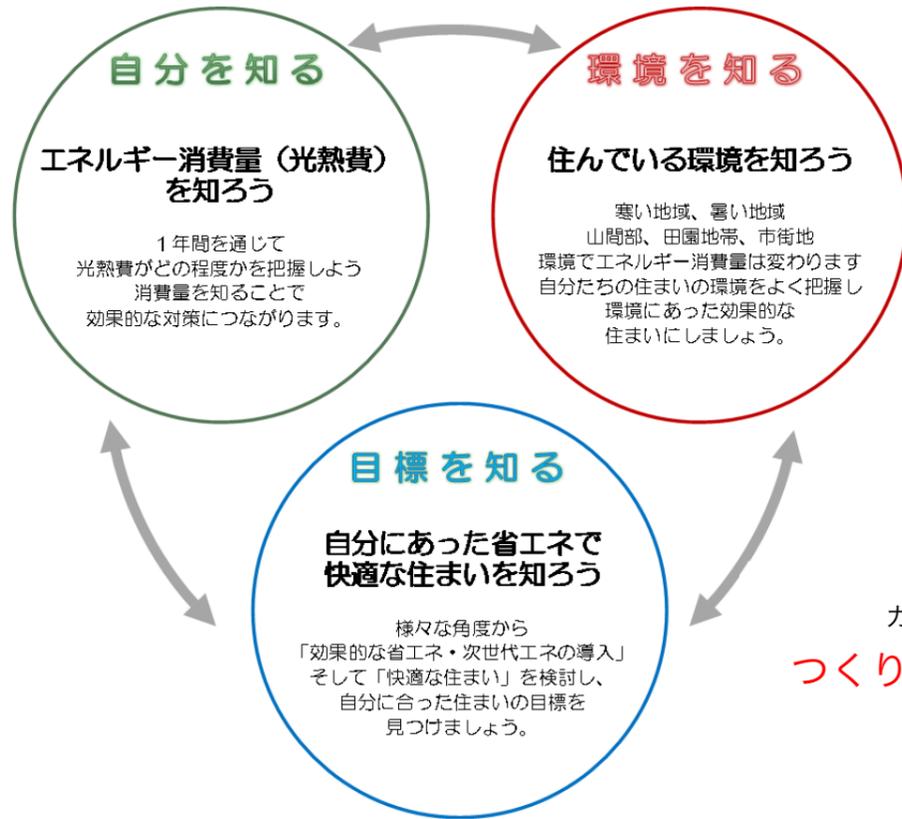
一言でいうと岐阜県がすすめる『**次世代住宅**』とは、利用するエネルギーを少なくした家のことです。しかし、それだけではなく、四季を通じて快適で健康な住まいにすることが前提に含まれています。

自然の原理などをうまく利用し、「**少ないエネルギーで快適な暮らしをする**」ということは、「**光熱費を抑え、健康な暮らしができる家**」となります。



## 2 次世代住宅に向けて、知っておきたい3つのこと

次の3つを考えましょう！



ガイドライン本編を活用し、  
つくり手と住まい手が協力して  
答えを見つけましょう。

## 3 省エネルギー対策による効果

### 暖房・冷房 | 熱をコントロール

#### ●「断熱性能」を向上させて快適に暮らそう!!

住宅における断熱は、次世代住宅を行う上での基本となります。断熱性の高い住宅は、室内の熱が逃げにくいので、右のグラフの様に暖房にかかるエネルギーを抑えることにつながります。

#### ●「窓や玄関」!

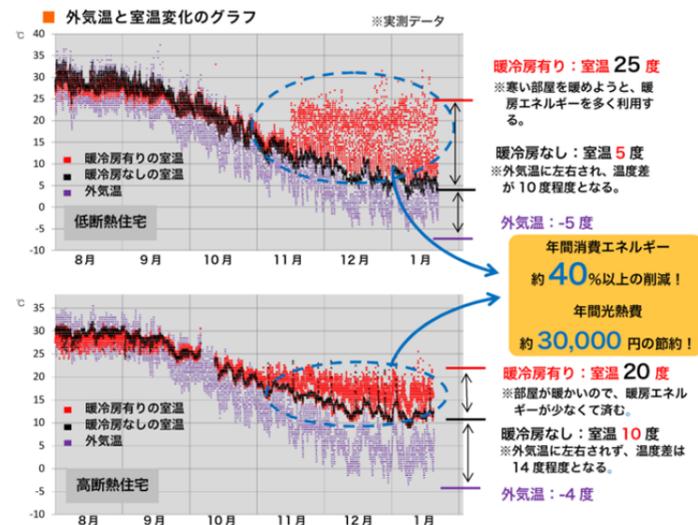
開口部の断熱対策をしっかりとこなそう。

#### ■熱の流出割合 (冬の暖房時)



出典：(社)日本建材産業協会「省エネルギー建材普及センター」「21世紀の住宅には、開口部の断熱を…」より、平成4年省エネ基準で建てた住宅モデル

※下のグラフは、外と室内の温度測定（30分間隔）の結果を時系列で表したものです。  
Point 1：黒ライン 低断熱住宅は外気温に左右されるため、室温が5度まで下がる!!  
Point 2：赤ライン 低断熱住宅は体感温度が低いため、室温を2.5度まで上げようとする!!  
Point 3：高断熱住宅と低断熱住宅を比べてみましょう!!

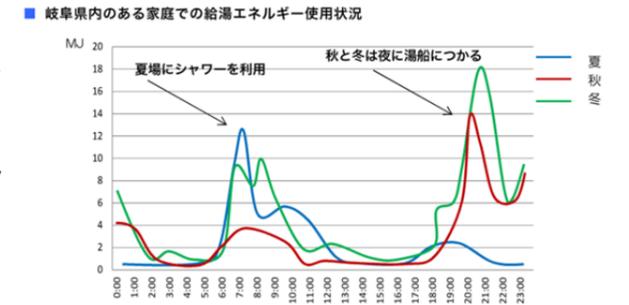


### 給湯 | お湯をコントロール

#### ●まずは熱源を選ぼう

給湯には様々な方式があり、特徴が違います。まずは熱源を選んでから設備を決めてください。

また、右のグラフの様に自分の給湯の使用状況のパターンなどを把握しておくことで給湯機を選択する際に役立ちます。



### 照明 | 光をコントロール

#### ①白熱灯はLEDに変更しよう

白熱電球のエネルギー消費量はとても大きく、まずは蛍光灯やLEDなどの消費電力の小さい機器に変更しましょう。



#### ②多灯分散照明方式の採用

人の出入りが多く、様々な生活行動をする中では、一室に一灯する方式よりも、多灯で分散する方式の方が大きな省エネ効果を生みます。

#### ③調光可能な制御の採用

照明の消し忘れや、日の光の入り具合によって、照度を抑えることで省エネとなります。調光例としては、「調光スイッチ」、「タイマー」、「センサー（照度・人感）」などがあります。

### 家電 | 電気をコントロール

#### ●高効率な家電製品を選択しよう。

住宅において家電は、生活者のスタイルによって大きく変わってきますが、省エネによる効果の大きな要素の一つです。最新の高効率機種に更新することで、省エネ・節電になるので、古い製品は積極的に買替しましょう。

【省エネ効果シミュレーションソフトの紹介】  
省エネ製品買替ナビゲーション しんきゅうさん  
<http://shinkyusan.com/index.html#/index/top>

※本資料内で使用している削減効果などの算出結果は、一定の条件に基づいた結果です。あくまでも目安として利用ください。条件等については、ガイドライン本編をご覧ください。